

高知県における高病原性鳥インフルエンザウイルス発生に伴う野鳥緊急調査の結果について

令和2年12月23日(水)

高知県宿毛市の養鶏場における高病原性鳥インフルエンザの患畜の確認を受けて、高知県が令和2年12月22日に野鳥緊急調査を実施したところ、野鳥の大量死等の異常は確認されませんでした。

1. 調査期間

令和2年12月22日(火)

2. 調査結果

高知県宿毛市内の野鳥監視重点区域内にある渡り鳥の飛来地等10か所において、高知県が野鳥の飛来状況等を調査した結果、野鳥の大量死等の異常は確認されませんでした。

(参考) 野鳥緊急調査で確認された鳥類

検査優先種	種数	種類
検査優先種1	4種	オシドリ、カンムリカイツブリ、キンクロハジロ、ヒドリガモ
検査優先種2	5種	オオバン、オナガガモ、トモエガモ、ホシハジロ、マガモ
検査優先種3	7種	アオサギ、カルガモ、カワウ、コガモ、トビ、メジロガモ、ヨシガモ
合計	16種	

※検査優先種：「野鳥における高病原性鳥インフルエンザに係る対応技術マニュアル」(環境省自然環境局)において、感染して死亡しやすい種を中心に設定しているものです。

3. 今後の対応

引き続き、野鳥監視重点区域において、野鳥の監視を継続します。